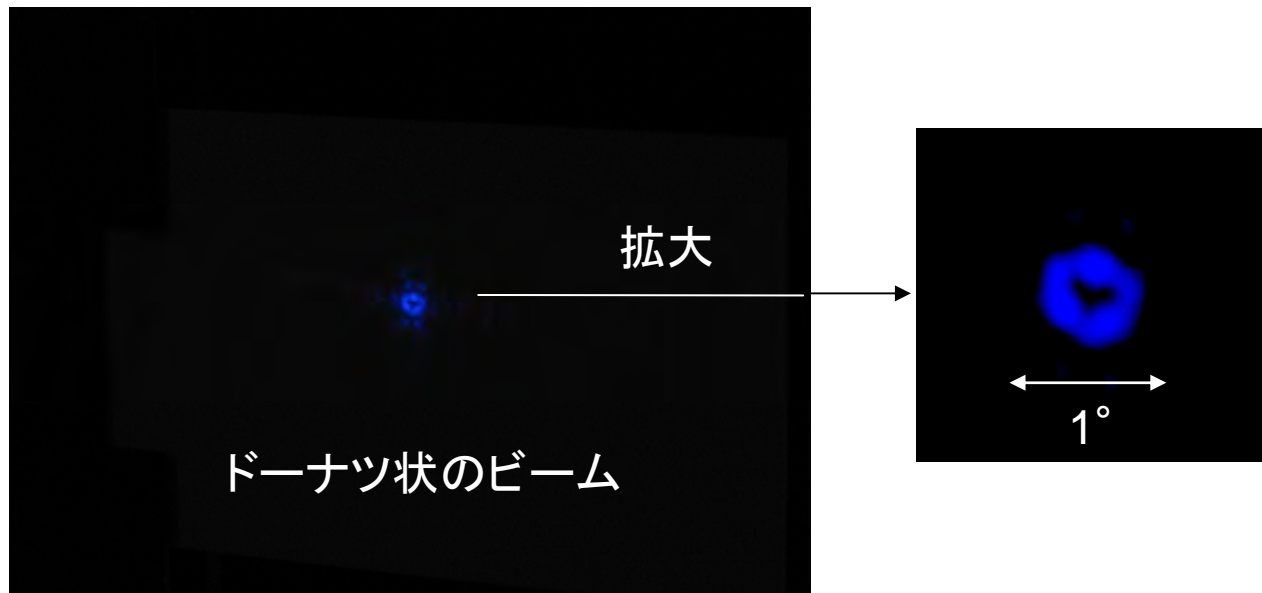


デバイスの発振の様子(無通電、発振後(LD発振))。  
(中央部の正方形 $100\mu\text{m}\times 100\mu\text{m}$ )のものが電極)。大面積での青紫色発振が得られている。



発振後、デバイスから出たレーザ光をスクリーンに映したもの(ビームパターン)。  
大面積を反映して、非常に拡がり角の小さなビームが得られている。  
また、ビーム形状は、特徴的なドーナツビームが得られている。